

## 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

校長 鈴木 正美

4月に実施された、小学校6年生を対象とした、平成30年度全国学力・学習状況調査結果とその考察についてお知らせします。平成26年度から、「学力や学習状況の結果を分析し、その後の教育に生かす」ことをねらいに結果を公表しています。

### 【平均正答率の比較】

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
全国比	上回っている	上回っている	上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度

※A問題は、主として知識に関する問題、B問題は、主として知識を活用して考える問題です。

### 【学力の結果と分析】

全国平均正答率の結果より、6年生は全国や県と比べて同程度の学力が定着している傾向にあると言えます。

国語の各領域では、国語Aの「書くこと」が全国比に比べて約4%下回りましたが、その他の領域では、国語A、国語Bとも全国比程度か全国比を上回っていました。

算数では、算数Aの「図形」領域が全国比に比べて約5%下回りましたが、その他の領域では、算数A、算数Bとも全国比程度か全国比を上回っていました。

理科では、「自然事象についての知識・理解」において、全国比を約15%下回っていましたが、それ以外は全国比程度か全国比を上回っていました。

### 【学習状況の結果と分析】

同時に実施した学習状況調査（児童アンケート）結果で、全国平均を大きく上回った項目は、「今住んでいる地域の行事に参加している」「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている」など、多くの項目がありました。

逆に下回った項目は、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」「学校のきまりを守っている」「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」などの項目でした。

### 【今後の対策】

- ・児童が安心して学べる（学校生活を送れる）学級づくりを大切にし、学ぶ楽しさを実感できる授業を目指します。
- ・全学級共通の板書カードを毎時間使用し、「学習する価値をしっかりとつかむ」「自分の言葉で学習をまとめる」「学習の取組を振り返る」ことが習慣化できるよう、全校体制で授業改善に努めていきます。
- ・家庭との連携・協力の下、家庭学習強調週間を実施し、家庭学習の習慣化やノーメディアを目指します。
- ・5年生後半から補充学習の時間を計画的に時間表に位置付け、級外職員も加わり学級担任と連携し、児童の学力実態に応じた少人数指導での指導に取り組みます。今後とも、変わらぬご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。